

お花って、かわいいね！



久賀小の参加児童の皆さんから、きれいな寄せ書きをいただきました。ありがとうございました！

今年も多古高校生産流通科三年生が、久賀小学校と常盤小学校の皆さんと草花交流会を実施しました。まず小学校の参加児童に9月に多古高校に来てもらって、パンジーの種まき体験をしました。そして年明けの1月に多古高校生産流通科の生徒が、その育ったパンジーを小学校に持って行って、一緒にパンジー寄せ植鉢を作りました。植物のしっとりした命の重みを、小さな手に感じてもらえたことと思います。



9月に多古高校でパンジーの種を植えました。土に均一に穴を開ける道具、おもしろいね。

コミュニティ・スクール情報誌

TAKO

千葉県立多古高等学校

かわら版 Vol.4

「コミュニティ・スクール」（学校運営協議会制度）は、保護者や地域の方々などで構成される「学校運営協議会」を通じて、よりよい教育を目指すための、地域に支えられる学校づくりの仕組みです。



コミュニティ・スクール委員の皆様による朝の挨拶運動

今年度は、多古町役場の方々も参加していただきました。この活動の成果として、生徒たちは遅刻が減り、自発的に挨拶をするようになりました。

1点を取られ、タイムが入った。ピッチャーに駆け寄り、励ます主将の鈴木君と選手たち。ピッチャーにかかるプレッシャーは想像を超える。



平成27年7月23日、千葉県野球場で行われた夏季千葉県高等学校野球大会でのこと。多古高等学校対中央学院高等学校の終盤、中央学院高校に1点を取られ、タイムが入った。投手椿君に駆け寄り選手たち。不安げに見つめる多古高校応援団の視線の中、7人はまたすぐに自分の守備に散っていった。そのときの様子を主将の鈴木匠君に話をしてもらった。



高校野球で得たもの

「ここで絶対取られちゃいけない雰囲気広がってタイムを取りました。あの時は夢中でよく覚えていないけれど、『楽にやろうぜ』とか『頑張ろう』と声をかけたと思います。自分は主将になってから皆を盛り上げることを考えて野球をやってきました。例えば、ピンチになって緊張が走ったときのタイムは、緊張をほぐすために場が和む言葉言ったり大事なことを言った後、あえて関係ない

話をすることもありました。練習中は、先生がいなくても皆が気持ちを盛り上げて集中できるような言葉がけや、意見を言い合える人間関係作りを気を配ってきました。『強いだけでは勝てない。一番大事なところで力を発揮したい。ピッチャーに打ち勝ち、辛いときでも逆転できるチーム作りを目指していました。あの試合には負けてしまったけれど、全力を出し切れたと思います。』

そういう鈴木君は後輩たちに送る言葉として次のように語った。

「甲子園に行くのは難しいかもしれない。だけど、目標を持って、自分は何ができるかを考え、限界を超えていって欲しい。高校で野球は2年半しかできない。卒業を控え、それがわかった。できることを、今、しっかりとやって欲しい。」

全力でやりきった生徒の言葉は、何よりも重い。



多古高校は、夏の県大会でベスト8に進出した。

少子化による定員割れが続く多古高校

の存続が心配される中、地域の問題として地域で考えなさいということ、「コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）」に指定されたのではないのでしょうか。第一期平成二十四年から三年間が終わり二期目に入りました。文部科学省の制度であるが予算措置は無いに等しく、会議中心の制度となっています。文部科学省の説明資料を見ても学校、教育委員会の説明と保護者、地域の皆さんの意見具申にとどまっています。地域とともにある学校づくりを推進とありますが、国、県に頼っている、地域に対しての啓発運動そして地域との共同活動に進むことが難しい状況です。町、住民、卒業生が応援しない高校は縮小していくと言われています。幸いな事に多古町からは県立多古高等学校振興費や各種の支援を頂いております。同窓生をはじめ地域の皆様

地域と共につくる 魅力ある多古高校



学校運営協議会委員
那須保秋

です。教員に頼ることが多く、地域にできることは少ないわけですが、家庭には大きな役割と責任があります。PTA、父母の研修を期待します。毎年授業参観をさせていただきませんが、年々落ち着いた態度での学習となってきました。徐々に学力も向上しているようです。

生徒指導分科会 生徒の服装や態度を住民や中学生はよく見えています。近隣の高校生と比較しています。よく見てやること、声をかけてやることで、自ら考え改善することを期待しての朝の挨拶運動も三年間続いています。毎日休まずに見守って下さる担当委員の皆様へ感謝申し上げます。

小・中・高・地域連携分科会

小・中との交流や町の行事等に参加してきました。生産流通科は三年度から園芸科となります。一歩進めて園芸農家や農協の指導を頂き、儲かる農業を体験して欲しいと思います。野球部の大活躍に触発されて地域が「野球部を応援する会」を結成しました。地域の支援→選手強化→大会での好成績→地域熱烈支援→更に選手強化→甲子園出場となつて欲しいものです。多古町の名が全国に知れ渡ります。

進路・学習指導分科会 高等教育の機関として学力の向上は最も大事なこと。高校の魅力化、定員の確保の第一条件で

寄宿舎を造り広く人材を集めたいとの意見もあります。協力者を探しています。